

(別紙) 成果報告書

清水区の各地域の魅力発信について

静岡県立大学 「ふじのくに」みらい共育センター 人口減少問題ワーキンググループ

指導教員：助教 丹羽康夫

参加学生：アリフ マウラナ、荒岡大紀、山崎奨大、
澤田幹太、星野真実、平野真矢、重田一樹、
叶正斐、Md Ashraf Ali、西田真央、丹羽浩通

1 要約

静岡市清水区にある草薙神社周辺地域に伝わる静岡県指定無形民俗文化財である「龍勢」花火について、留学生を含めた静岡県立大学の学生が中心となって、“聞き書き”によりその魅力を発見し、小冊子や動画を活用して発信する活動を行った。

2 研究の目的

静岡市には国内外に誇れる多くのユニークな伝統文化が継承されている。しかしながら、それら伝統文化の魅力が十分に伝えられているとはいえない。本学が位置する有度地区にも江戸時代が起源とされる「龍勢」が伝えられている。そこで龍勢の魅力を、長年製作に関わってきた長老の皆様から“聞き書き”により探り出し、その成果を小冊子および動画としてまとめ、市内小中学生をはじめ多くの人々に情報発信することを目的とした。

3 研究の内容

草薙地区には龍勢保存会会員として、長年龍勢の製作・打ち上げに携わってきた長老の方々が現在も活躍されている。28度の草薙龍勢の打ち上げは9月25日に実施され、我々は龍勢の製作から打ち上げまで、実際に参加させていただくことができた。この経験を生かし、“聞き書き”という手法を用い、龍勢の歴史や思い・魅力を探り出し、本学周辺地域の歴史・文化や史跡の紹介も含めたマップを作成するとともに、小冊子および動画を作成し、小冊子は市内小中学生に配布する予定である。また、龍勢は国内で3箇所でのみ、定期的な打ち上げが実施されているが、メコン川流域のタイやラオスにもよく似た竹製ロケットが伝わっている。本学では東南アジアを含め多くの留学生が在籍しているため、彼らにも協力してもらい、龍勢の魅力を広く伝える活動を行った。

4 研究の成果

(1) 当初の計画

- “聞き書き”により龍勢の魅力を探り出す。
- 本学周辺地域のマップを含めた小冊子および動画の作成および小冊子の配布。

- 留学生も含め、龍勢の魅力を国内外へ情報発信する。

(2) 実際の内容（Aは予定どおり、Bは一部修正、Cは中止など）とその理由

- “聞き書き”により龍勢の魅力を探り出す（A）

聞き書きの手法は、その第一人者である六車由美氏が10月1日に沼津にて開催したワークショップに参加して学ぶ機会が得られ、本学の野村千文先生、比留間洋一先生の支援のもと11月1日に草薙神社龍勢保存会様の全面的な協力が得られたので予定通り実施できた。

- 本学周辺地域のマップを含めた小冊子および動画の作成および小冊子の配布（B）

有度ふるさと研究会、一般社団法人草薙カルテッドの協力により、12月8日に本学周辺地域の街歩きを実施した。服部禎之氏および草薙神社龍勢保存会、草薙龍勢花火大会実行委員会、静岡県立大学TVの協力により予定通り実施できた。ただし、小冊子には2月11日に実施した成果報告会での内容や要望を取り入れたため、完成および配布が当初の予定より遅れた。

- 留学生も含め、龍勢の魅力を国内外へ情報発信する（A）

龍勢の製作段階から複数名の留学生が積極的に参加してくれたとともに、10月1日に実施された静岡県立大学における留学生交流会では、草薙神社龍勢保存会の協力により、約200名の留学生の前で“木遣り唄”を生で披露していただいた。会場では龍勢の実物大の模型の展示とともに、龍勢に関するポスターを掲示して紹介した。また、28年度の龍勢の打ち上げを含めた動画や、新成人に向けた動画メッセージを作成し、そのQRコードを印刷したカードを1月3日にグランシップで開催された成人式にて配布した。またQRコードを印刷したポスターを作成し、草薙神社での掲載を依頼した。

(3) 実績・成果と課題

- “聞き書き”により龍勢の魅力を探り出す

聞き書きの手法を六車由美氏から直接学ぶ機会がもてたので、その後の実施を円滑に進めることが出来た。聞き書きの成果は、“龍勢かるた”としてまとめることができ、2月11日に実施した活動報告会で披露した。また、一部は次項の小冊子にも掲載した。今後は、完成したかるたの活用方法や聞き書き活動の継続が課題である。

- 本学周辺地域のマップを含めた小冊子および動画の作成および小冊子の配布

有度ふるさと研究会、一般社団法人草薙カルテッドのご協力により、実際に本学周辺地域の街歩きを実施することができた。マップにかんしては、服部禎之氏から非常に多くの貴重な情報を提供していただくことが出来、一般社団法人草薙カルテッドの全面的な協力のもとに完成した。加えて、小冊子や動画の作成は、草薙神社龍勢保存会、草薙龍勢花火大会実行委員会、静岡県立大学TVの協力により実施できた。今後、関係小中学生向けへの配布方法やそれ以外への有効な活用法の検討が課題である。

- 留学生も含め、龍勢の魅力を国内外へ情報発信する

10月1日に実施された静岡県立大学における留学生交流会での、草薙神社龍勢保存会による“木遣り唄”のライブに関しては、静岡県立大学の以下サイトで紹介されている（http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/news_topics/news20161005/index.html）。龍勢の実物大模型や龍勢に関するポスターには、多くの留学生が興味を示してくれた。静岡県立大学TVの協力により、28年度の龍勢の打ち上げを含めた動画や、新成人に向けた動画メッセージが見られるQRコードを作成することができた。1月3日にグランシップで開催された成人式での配布や、QRコードを印刷したポスターの草薙神社での掲載は、好評であったが、今後海外も含めさらなる情報発信

の方法を検討することが課題としてあげられる。

(4) 今後の改善点や対策

さらに活動を広げる必要があると感じたため、参加してくれる学生の募集方法を工夫することと、活動の継続性の観点からは、先輩から後輩へのスキルや経験の伝達方法を確立する。また、海外へ向けた情報発信のために、英語版をはじめとした外国語に対応した冊子や動画を作成する。

5 地域への提言

静岡では人口減少問題が解決すべき大きな課題の一つであるが、今回の活動ではその対策の一助として静岡市の成人式でPR活動を実施したが、さらにこの活動を広めていく上で、今回の活動成果を大いに役立てていただきたい。また、清水港へは近年、大型観光船が頻繁に寄港しており、さらには国際クルーズ拠点にも選定される等、今後も海外から多くの方が訪れることが期待されている。この活動で作成した小冊子には、ローマ字表記した「草薙木遣り唄」も掲載したので、そのような機会を利用して、龍勢の魅力を多くの外国人の方々にも知っていただく活動にも活用していただきたい。

さらに、静岡には様々な伝統文化や地域資源が育まれてきた一方で、高齢化や人口減少により次々と消え去ってしまう危機にも直面しているため、今回の活動をモデルとしてその対策に役立てていただきたい。

6 地域からの評価

2月11日に実施した活動の報告会において、参加していただいた方々からご回答いただいたアンケートからも今回の活動に対して非常に多くの方々から高評価をいただくことができた。中には、完成した小冊子を是非いただきたいとの意見も寄せられるなど、勇気づけられるとともに大きな期待とそれともなう責任を感じた。当日の活動の様子はマスコミ3社より取材をうけ、翌日の中日新聞には記事として取り上げられた。

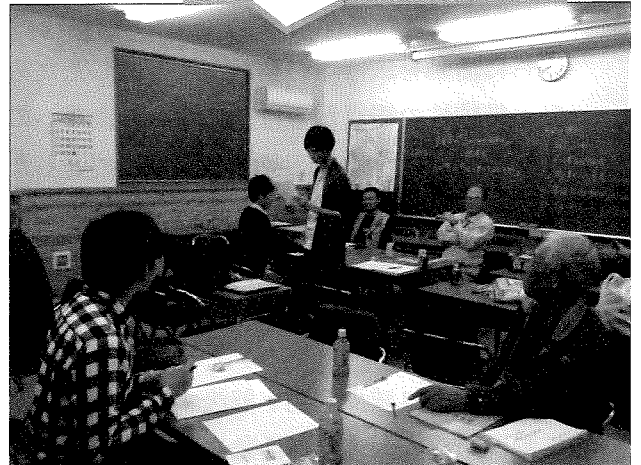
聞き書きワークショップ

@沼津(10/1)



聞き書き・かるた作り

@草薙自治会館(11/1)



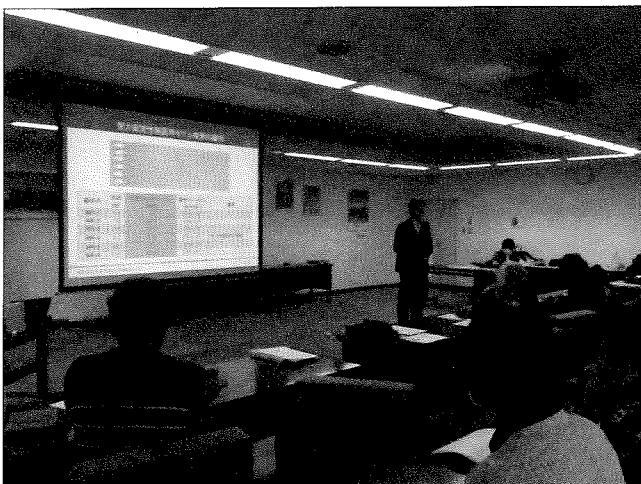
初詣での広報活動

@草薙神社(1/1)



静岡市成人式での広報活動

@グランシップ(1/3)



活動成果発表会

@静岡県立大学(2/11)



2017年2月12日

中日新聞朝刊